

# 環 境 係

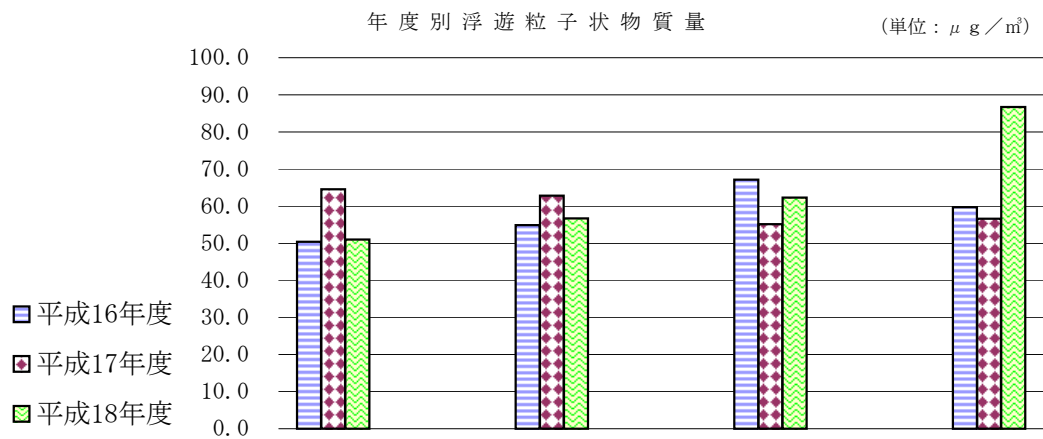
## 1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成19年2月27日から同年3月2日まで

調査地点：市内4箇所

ア 浮遊粒子状物質量



区分	市役所	水道事務所	市民会館	第二小学校
平成16年度	50.4	54.9	67.1	59.7
平成17年度	64.5	62.8	55.1	56.6
平成18年度	51.0	56.7	62.3	86.7

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査地点・年度 調査項目	市役所		水道事務所		市民会館		第二小学校	
	平成18年度	前年度	平成18年度	前年度	平成18年度	前年度	平成18年度	前年度
鉛	0.011	0.016	0.011	0.020	0.010	0.014	0.010	0.016
マンガン	0.026	0.029	0.052	0.044	0.040	0.025	0.040	0.027
バナジウム	0.003	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
全クロム	0.004	0.006	0.004	0.008	0.005	0.005	0.005	0.008

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$  ( $\mu\text{g}$  (マイクログラム) は100万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成19年3月20日

調査事業所数：11事業所（燃料使用量300ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t %)
			平成18年度	前年度	
A	特A	1,000	0.09	0.06	0.8
B	〃	300	0.07	<0.05	
C	A	500	0.41	0.07	
D	〃	300	0.35	0.17	
E	〃	800	0.43	0.07	
F	〃	1,500	0.44	0.15	
G	〃	800	0.44	0.08	
H	特A	1,200	0.09	0.06	
I	A	600	0.35	0.08	
J	〃	600	0.36	0.17	
K	特A	300	0.05	0.10	

※ W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

(3) 二酸化窒素

調査日：平成19年1月23日～同月24日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成18年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.034	0.037	0.06
2	武蔵野橋南	0.043	0.048	
3	熊川内出	0.030	0.034	
4	第五ゲート前	0.040	0.041	
5	福生志茂南	0.027	0.028	
6	多摩橋北	0.025	0.028	
7	福生駅西	0.031	0.031	
8	福生加美美	0.028	0.030	
9	福生加美平	0.024	0.032	
10	福生市役所前	0.033	0.032	
11	武蔵野台北	0.025	0.030	
12	第二ゲート前	0.044	0.045	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部	0	0	2	3	4	1	10	8
区 北部	0	0	2	2	5	1	10	9
区 西部	0	0	3	3	5	1	12	16
区 南部	0	0	2	3	4	1	10	11
多摩北部	0	0	3	4	7	0	14	15
多摩中部	0	0	3	4	7	0	14	11
多摩西部	0	0	3	1	5	0	9	10
多摩南部	0	0	2	5	6	0	13	10
合計	0	0	20	25	43	4	92	90

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

## 2 水質調査

### (1) 河川及び下水道（雨水管）

PH(水素イオン濃度) : 環境基準 6.5~8.5 排水基準 5.8~8.6  
 BOD(生物化学的酸素要求量) : 環境基準 2 mg/ℓ 排水基準 160 mg/ℓ  
 SS(浮遊物質) : 環境基準 25.0 mg/ℓ 排水基準 200.0 mg/ℓ

#### ア 多摩川

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成18年度	8.2	8.5	7.4	7.7	7.5	7.4
	平成17年度	8.6	8.7	8.2	8.6	8.9	8.4
	平成16年度	8.7	9.0	8.7	8.2	8.2	8.4
B O D	平成18年度	1.2	1.4	1.0	0.9	1.1	1.2
	平成17年度	0.8	0.6	ND	1.1	2.9	1.6
	平成16年度	1.0	1.0	0.3	1.2	1.8	1.9
S S	平成18年度	1.0	2.5	0.5	ND	ND	ND
	平成17年度	2.0	1.5	2.0	ND	0.5	2.0
	平成16年度	1.0	4.0	ND	ND	1.0	ND

#### イ 下の川

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成18年度	7.5	8.1	7.6	7.3	7.1	7.4
	平成17年度	7.7	8.3	7.4	8.0	8.3	8.2
	平成16年度	7.8	7.8	7.6	7.8	7.5	7.8
B O D	平成18年度	1.2	1.4	0.9	1.2	0.9	1.0
	平成17年度	0.9	0.4	ND	0.8	2.4	1.7
	平成16年度	1.6	0.8	ND	2.8	1.5	1.9
S S	平成18年度	ND	3.0	0.3	ND	ND	ND
	平成17年度	0.7	1.7	0.7	ND	1.0	4.0
	平成16年度	ND	1.0	ND	ND	ND	ND

#### ウ 都市下水路

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成18年度	7.6	7.7	7.9	7.6	6.9	7.4
	平成17年度	8.1	8.2	7.6	8.3	8.3	7.8
	平成16年度	7.7	8.0	7.9	7.8	7.7	8.1
B O D	平成18年度	1.1	1.2	0.8	0.8	0.8	0.9
	平成17年度	0.5	0.5	ND	0.8	2.3	1.4
	平成16年度	1.3	0.9	0.7	1.8	1.8	2.1
S S	平成18年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	ND	ND	ND	ND	ND	1.0
	平成16年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND

#### エ 本町幹線

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
P H	平成18年度	9.0	9.0	8.9	7.4	8.6	9.3
	平成17年度	8.9	9.0	8.1	8.6	8.9	8.2
	平成16年度	8.0	8.4	9.2	9.2	8.8	9.2
B O D	平成18年度	1.8	1.6	2.5	1.1	1.3	1.2
	平成17年度	2.3	0.8	0.5	1.1	3.2	1.8
	平成16年度	2.4	1.0	1.3	1.8	1.9	5.8
S S	平成18年度	2.0	1.0	5.0	ND	ND	3.0
	平成17年度	6.0	2.0	1.0	2.0	ND	2.0
	平成16年度	7.0	330.0	ND	ND	ND	1.0

- ※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水
- ※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。
- ※ 平成16年度は天候不順のため9月分を11月に、11月分を12月に測定
- ※ ND：定量下限値未満

## (2) 多摩川合同採水

採水年度	平成18年度		前年度	
	採水月日	6. 1 (木)	11. 9 (木)	6. 2 (木)
採水時間	午前11時30分		午前11時30分	
流量 $m^3/sec$	2.66	2.46	2.08	2.34
気温 $^{\circ}C$	33.0	23.0	21.2	17.0
水温 $^{\circ}C$	22.0	15.8	17.1	8.1
外観	淡暗緑色	淡暗緑色	無色	無色
臭気	無臭	淡沼沢臭	無臭	無臭
透視度	50<	50<	50<	50<
PH (水素イオン濃度)	8.4	8.5	8.0	7.6
DO (溶存酸素) $mg/l$	9.7	11.5	9.7	11.2
BOD (生物学的酸素要求量) $mg/l$	1.3	0.9	1.2	0.9
COD (化学的酸素要求量) $mg/l$	3.6	1.7	0.7	0.7
SS (浮遊物質) $mg/l$	2	<1	3	<1
T-CN (シアン化合物) $mg/l$	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
Pb (鉛) $mg/l$	0.002	0.004	<0.002	<0.002
NH <sub>4</sub> -N (アンモニア性窒素) $mg/l$	<0.10	<0.01	0.03	<0.01
T-N (全窒素) $mg/l$	1.14	1.24	1.09	1.32
PO <sub>4</sub> -P (リン酸性リン) $mg/l$	<0.03	<0.03	0.009	0.010
T-P (全リン) $mg/l$	<0.06	<0.06	0.040	0.017
MBAS (陰イオン界面活性剤) $mg/l$	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02
ジクロロメタン $mg/l$	<0.002	<0.002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素 $mg/l$	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン $mg/l$	<0.0004	<0.0004	<0.0002	<0.0002
1, 1-ジクロロエチレン $mg/l$	<0.002	<0.002	<0.0002	<0.0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン $mg/l$	<0.004	<0.004	<0.0002	<0.0002
1, 1, 1-トリクロロエタン $mg/l$	<0.1	<0.1	<0.0002	<0.0002
1, 1, 2-トリクロロエタン $mg/l$	<0.0006	<0.0006	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン $mg/l$	<0.003	<0.003	<0.0002	<0.0002
テトラクロロエチレン $mg/l$	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1, 3-ジクロロプロペン $mg/l$	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン $mg/l$	<0.001	<0.001	<0.0002	<0.0002
チウラム $mg/l$	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン $mg/l$	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ $mg/l$	<0.002	<0.002	<0.0003	<0.0003
セレン $mg/l$	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002
大腸菌群数 MPN/100ml	1700	3300	2300	790
カドミウム $mg/l$	<0.001	<0.001	<0.005	<0.005
六価クロム $mg/l$	<0.005	<0.005	<0.02	<0.02
ヒ素 $mg/l$	<0.001	<0.001	<0.0005	<0.0005
総水銀 $mg/l$	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 $mg/l$	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB $mg/l$	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 $mg/l$	1.25	1.15	0.84	1.21
環境基準	水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：平成18年8月29日

検査項目 \ 測定地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/ℓ	4.2	2.1	3.3	5.1	5.1	4.6	6.4	0.6	2.6	2.2	10以下
塩素イオン mg/ℓ	2.6	2.4	4.0	8.0	6.1	6.0	13.1	1.7	3.5	3.3	200以下
過マンガン酸カリウム消費量 mg/ℓ	<0.5	<0.5	0.8	<0.5	<0.5	0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	10以下
一般細菌個/mℓ	28	4500	13	33	1000	490	690	34	57	9	100以下
大腸菌群数	不検出	不検出	不検出	検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉄 mg/ℓ	<0.05	<0.05	<0.05	0.17	0.19	<0.05	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	0.3以下
マンガン mg/ℓ	0.014	<0.005	<0.005	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
P H	6.3	7.2	6.6	6.7	6.8	6.6	6.8	6.8	7.2	7.3	5.8～8.6
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
味	異常なし	測定せず	異常なし	測定せず	測定せず	測定せず	測定せず	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
色度	<1	<1	<1	2	2	<1	1	<1	<1	<1	5度以下
濁度	<1	<1	<1	1	1	<1	1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03以下
テトラクロロエチレン mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成18年8月29日

単位：mg/ℓ (PHと水温を除く。)

検査項目 \ 測定地点	A工場		B工場		基準値
	平成18年度	前年度	平成18年度	前年度	
PH (水素イオン濃度)	7.6	7.0	7.6	7.2	5.8～8.6
PH測定時水温	26℃	24℃	25℃	24℃	40℃以下
BOD (生物学的酸素要求量)	4.3	6.6	2.8	5.4	160
COD (化学的酸素要求量)	9.0	9.1	12.5	11	200
SS	12	29	130	82	200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.02	<0.01	<0.07	<0.01	3
亜鉛含有量	0.02	<0.01	0.15	0.1	5
溶解性鉄含有量	<0.1	0.12	0.2	<0.05	10

### 3 騒音調査

#### (1) 自動車交通量・交通騒音調査

##### ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成19年2月8～9日	平成19年2月6～7日	平成18年12月19～20日	平成19年1月30～31日	平成19年2月1～2日
上り	26,167	11,382	10,362	4,434	8,580
下り	28,188	12,450	10,776	4,476	12,900
合計	54,355	23,832	21,138	8,910	21,480
前年度合計	55,800	24,108	21,060	9,546	20,994

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

##### イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成19年2月8～9日	平成19年2月6～7日	平成18年12月19～20日	平成19年1月30～31日	平成19年2月1～2日	
騒音 (LEQ)	昼間	73	70	73	67	68
	前年度	73	71	71	67	68
	夜間	72	67	70	62	68
	前年度	74	68	70	64	67
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ LEQ＝等価騒音レベル

(2) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	753	598	136	19	102	85
5	726	546	159	21	104	87
6	852	577	249	26	104	94
7	601	492	88	21	102	85
8	695	466	205	24	102	89
9	696	592	95	9	102	83
10	867	659	187	21	99	83
11	717	523	182	12	100	83
12	705	584	112	9	100	82
19年1	1,159	901	249	9	106	90
2	519	387	121	11	101	83
3	942	769	160	13	100	83
合計	9,232	7,094	1,943	195		
前年度合計	9,781	7,709	1,793	279		
平均	769	591	162	16	102	86

※ dB：デシベル

※ WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	177	135	42	0	80	69
5	188	120	67	1	81	62
6	196	89	102	2	80	62
7	85	63	22	0	78	56
8	169	82	87	0	80	65
9	123	104	19	0	87	58
10	191	99	90	2	80	62
11	164	95	67	2	80	60
12	136	104	32	0	80	61
19年1	268	179	89	0	81	63
2	93	55	38	0	76	58
3	215	162	52	1	81	66
合計	2,005	1,287	707	8		
前年度合計	2,104	1,493	592	19		
平均	167	107	59	1	80	62

※ dB：デシベル

※ WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

## (3) 環境騒音調査 市内29地点 (46箇所)

測定日：平成19年3月5日(水)から同年同月7日(金)まで【昼間】

No	測定地点		騒音の大きさ (dB)			支配音
	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成18年度	前年度		
1	準工業	一般地域	60	48	60	一般音
2	準工業	一般地域	56	50	60	〃
3	第1種住居	沿道	74	71	70	自動車音
	第1種低層	後背地	51	51	55	〃
4	近隣商業	沿道	75	74	70	〃
	近隣商業	後背地	61	63	60	〃
5	第1種低層	一般地域	52	55	55	自然音
6	第1種住居	沿道	69	70	70	自動車音
	第1種低層	後背地	53	55	55	〃
7	近隣商業	沿道	78	77	70	〃
	第1種低層	後背地	56	56	55	〃
8	第2種低層	沿道	64	64	60	〃
	第1種低層	後背地	56	52	55	〃
9	第1種中高層	沿道	70	68	65	〃
	第1種低層	後背地	52	43	55	〃
10	第1種低層	後背地	51	52	55	一般音
	第1種中高層	沿道	63	55	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	73	67	70	〃
	第1種低層	後背地	57	51	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	51	52	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	62	53	60	〃
14	近隣商業	一般地域	57	49	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	55	51	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	76	74	70	〃
	第1種低層	後背地	58	53	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	53	52	55	〃
18	近隣商業	沿道	68	72	70	自動車音
	近隣商業	後背地	57	47	60	〃
19	第1種低層	一般地域	59	52	55	〃
20	第2種中高層	沿道	68	67	70	〃
	第1種中高層	後背地	55	52	55	一般音
21	商業	一般地域	68	67	65	自動車音
22A	商業	一般地域	57	59	65	〃
22B	商業	沿道	70	65	70	〃
	第2種低層	後背地	57	56	55	〃
23	第1種中高層	沿道	70	70	60	〃
	第1種低層	後背地	51	57	55	〃
24	準工業	一般地域	53	47	65	一般音
25	近隣商業	沿道	68	69	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	44	47	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	54	54	60	〃
27	工業	沿道	70	70	70	自動車音
	工業	後背地	55	51	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	48	50	60	〃
29	第1種住居	沿道	67	67	70	自動車音
	第1種住居	後背地	56	51	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

※ No. 9及びNo. 10は平成16年度より調査地点を変更



#### 4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	19年	1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	2	2	2	1	2		4	2				2		17	21
アスベスト相談	1	1	2		1	1	1		1			2		10	45
水 質 汚 濁			3										2	5	1
土 壌 汚 染														0	0
騒 音 ・ 振 動	2	5	1	3	3	1		1	1			1	2	20	9
低 周 波 音														0	0
航空機騒音	0	5	14	2	2	3	6	4	0	2	5	10	53	129	
地 盤 沈 下														0	0
悪 臭	2	1	1			3						1	1	9	11
雑 草			2	2	1	1							1	7	11
そ の 他	7	5	7	2	10	3	3	3		2	1	1	44	36	
合 計	14	19	32	10	19	12	14	10	2	4	12	17	165	263	

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 18年度	前年度	区 分	平成 18年度	前年度
工 場 設 置 認 可	1	0	指 定 作 業 場 設 置 届 ※	76	1
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	9	0
工 場 変 更 認 可	1	2	指 定 作 業 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	0
工 場 変 更 認 定	0	2	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	1
工 場 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	0	特 定 施 設 設 置 届	2	5
工 場 廃 止 届	1	0	特 定 施 設 変 更 届	1	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更 ・ 承 継 届	0	1
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	15	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	24	21
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	0	4			

※指定作業場設置届出数の増加は、駐車場に対して調査を実施したため。

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 18年度	前年度	区 分	平成 18年度	前年度
工 場 認 可 関 係	0	2	苦 情 処 理	257	394
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	2	各 種 測 定	151	151
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	0	4			

## 5 環境行政・環境学習の推進

### (1) 福生環境市民会議等

#### ア ごみ減量プロジェクト

- 第22回 容器包装プラスチックの分別収集について
- 第23回 環境フェスティバルのブース展示について
- 第24回 展示パネルの作成
- 第25回 環境フェスティバルの反省およびバイオによる生ごみ処理施設について
- 第26回 実験施設としてのコンポストの設置場所について
- 第27回 コンポストの管理について
- 第28回 容器包装プラスチックの中間報告
- 第29回 コンポストの状況についての説明
- 第30回 容器包装プラスチックの立体パネルの作成について
- 第31回 立体パネル作成
- 第32回 立体パネル作成
- 第33回 雑紙資源回収の成果についての報告

#### イ 「人と動物の共生」福生市民会議

- 第12回～第17回 犬のドッグランについて
- 第18回～第24回 犬問題について

#### ウ 福生エネルギー市民会議

- 第8回 地域エネルギービジネス企画（案）について他
- 第9回 環境と経済の好循環を目指す福生モデルプランについて
- 第10回～第12回 「福生スクラム・マイナス50%事業」について
- 第13回 福生エコライトハウス広報及び募集要項について
- 第14回 環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」について
- 第15回 福生スクラム・マイナス50%事業実行計画について、課題検討
- 第16回 スクラム・マイナス50%家計簿について
- 第17回 環境家計簿について、福生スクラム・マイナス50%協議会キャラクターについて

#### エ 福生地域猫の会

- 第10回～第22回 福生における猫問題と地域猫制度の実施について

#### オ 湧水探検隊

- 第6回～第12回 現地調査（市内8箇所）
- 第13回 湧水聞き取り調査
- 『湧水調査報告書－福生市の湧き水－』発行

#### カ 環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

- 第16号～第19号

#### キ 福生環境市民会議ホームページの運営

### (2) 福生市環境審議会

- 第二期第2回 福生市環境基本計画実行計画について（平成18年11月24日）

### (3) ふっさ環境フェスティバル（平成18年6月4日）

- 参加者 1,500人
- 熱気球体験、電気自動車試乗会、マスつかみ取り他

### (4) 市民環境大学“たんけん・はっけん・ほっとけん講座”全8回

- 第1回 地球温暖化を考える① 自然エネルギーと私たちの暮らし（10人）
- 第2回 地球温暖化を考える② 二酸化炭素マイナス50%への道筋（6人）
- 第3回 バリアフリーを考える① 生活しやすい街づくり（12人）
- 第4回 バリアフリーを考える② 福生市のバリアフリー計画について（12人）
- 第5回 ゴミを考える① ゴミを取り巻く現状とこれから（9人）
- 第6回 ゴミを考える② 資源化への取り組みについて（9人）
- 第7回 緑（緑地）を考える① 福生の緑、今と昔（12人）
- 第8回 緑（緑地）を考える② 緑の基本計画について（12人）

- (5) 水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全12回
- 第1回 多摩川で遊ぼう 入門編 (17人、7人、10人)
  - 第2回 環境フェスティバルに参加しよう (フェスティバルへの参加で、人数把握せず)
  - 第3回 プールのヤゴ救出大作戦 (15人、6人、10人)
  - 第4回 多摩川カップまつり (雨天中止)
  - 第5回 夏休み源流体験 (16人、0人、14人)
  - 第6回 ペットボトルのいかだ作りに挑戦 (28人、5人、15人)
  - 第7回 魚釣りとかさかさ (25人、5人、10人)
  - 第8回 生き物探偵団 (22人、6人、14人)
  - 第9回 ネイチャークラフトに挑戦しよう (24人、6人、13人)
  - 第10回 どんと焼きを見学しよう (21人、8人、13人)
  - 第11回 手作り凧揚げに挑戦 (18人、7人、16人)
  - 第12回 多摩川ウォーキングに参加しよう (雨天中止)
- ※ ( ) 内の参加人数は子ども、保護者、ボランティアの順で表示しています。

- (6) 水辺の楽校“多摩川の達人になろう講座”全12回
- 第1回 多摩川とは?～源流から河口まで136kmの概要 (12人)
  - 第2回 多摩川の自然①～水の中の生きもの (13人)
  - 第3回 多摩川で活動するために～水辺の安全確保 (15人)
  - 第4回 多摩川で子どもたちと遊ぼう～多摩川カップまつり (12人)
  - 第5回 多摩川の水源～水干探訪 (11人)
  - 第6回 多摩川の自然②～川原の自然観察 (12人)
  - 第7回 多摩川と人のつながり～in羽村 (6人)
  - 第8回 多摩川の河口～海への入り口 (6人)
  - 第9回 多摩川の自然③～多摩川の野鳥 (9人)
  - 第10回 多摩川への親しみ～in狛江・登戸 (6人)
  - 第11回 多摩川の地形・地質～自然の歴史 (10人)
  - 第12回 多摩川らしさ～あなたが伝えたいこと (7人)

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
108	61	33	101	113	116	33
11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
63	90	29	122	60	929	901

開館日数：131日 (土・日曜及び小・中学校夏休み期間)

- (8) 環境学習教員研修
- 第1回 「今、地球は—地球環境を知る」 10人
  - 第2回 「自然の中での遊びから気づく」 11人
  - 第3回 「多摩川—フィールドで遊ぶ」 11人
  - 第4回 「科学遊びで地球温暖化を考える」 11人

(9) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
28匹	19匹	47匹

## 6 地球温暖化対策

福生スクラム・マイナス50%事業の取組

市と商工会が事務局となり、地球温暖化対策を進める。

### (1) 福生スクラム・マイナス50%協議会

設立総会 諸規程について、役員選出について他（平成18年8月15日）

第1回 「平成18年度環境と経済の好循環のまちモデル事業」の決定について他（平成18年12月14日）

第2回 3箇年事業計画の承認について他（平成19年2月9日）

第3回 省エネアドバイザー養成講座等について他（平成19年3月16日）

### (2) 普及啓発等事業の実施について

#### ア 事業者技術支援セミナー

第1回 「地域から地球温暖化対策を一現状と課題一」（23人）

第2回 「環境に配慮した住宅のポイント」（24人）

第3回 「高断熱住宅にリフォームするには」（24人）

第4回 「新エネ・省エネ機器を設置するには」（28人）

#### イ 省エネアドバイザー養成コース

「省エネ診断のポイント」（12人）

「省エネ住宅への道すじとガイダンス」（12人）

「省エネ診断」（市内6箇所）（36人）

「事業所のエネルギーを診断するには」（11人）

「医療・福祉施設のエネルギーを診断するには」（10人）

#### ウ 講演会

「身近な生き物と地球温暖化」（平成19年3月18日）（8人）

講師 小澤祥司氏（環境学習コーディネーター）

#### エ 広報誌『福生エコライトハウス』の発行

第1号～第2号

#### オ 環境家計簿ソフト開発の基本設計

#### カ 効果の測定・評価手法の策定

#### キ その他啓発事業

ホームページの開設・更新

イメージキャラクターの募集

キャラクターシール、ポスターの作成

## 7 緑化推進事業

### (1) 出生記念樹配布 (キンモクセイ・ツツジ)

(第1回目)

実施日 平成18年5月27日(土)

対象者 平成17年9月1日から平成18年2月29日生まれまで

該当者数 283人 配布数 110本 配布率 39%

配布内訳 モクセイ(大)19本、モクセイ(小)35本、ツツジ56本

(第2回目)

実施日 平成18年11月25日(土)

対象者 平成18年3月1日から同年8月31日生まれまで

該当者数 252人 配布数 82本 配布率 33%

配布内訳 モクセイ(大)22本、モクセイ(小)25本、つつじ35本

### (2) 花の種子配布

苗の種類	配布数(袋)
ひまわり	300
大輪百日草	400
松葉牡丹	400
白花カスミ草	400
金せん花	700
ポピー	700
八重矢車草	400
美女撫子	700
西洋石竹	400
ぼんぼん百日草	400
アスター	700
帝王貝細工	700
あさがお	700
けいとう	700
コスモス	700
ハーブ	1,300
合計	9,300

### (3) 草花の苗配布

苗の種類	配布数(株)
サルビア	16,241
マリーゴールド	18,663
パンジー	19,830
葉ポタン	8,000
ビオラ	9,940
合計	72,674

## 8 緑化保存事業

### (1) 保存樹林地

種別	件数(件)	筆数(筆)	面積(m <sup>2</sup> )
宅地介在山林	7	11	6,509.30
一般山林	5	10	3,386.00
合計	12	21	9,895.30

### (2) 保存樹木

件数	本数
49件	219本

### (3) 保存生垣

件数	個所数	延長
179件	185箇所	4,132m

### (4) アメリカシロヒトリ防除事業

実施期間 平成18年5月～同年9月

箇所数 3箇所

本数 17本